

科目名	データサイエンス (DX看護)		担当教員	古澤 洋子、小島 ひとみ、伊藤 友美	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブラーニングの要素	グループワーク				
実務経験	保健師、看護師、看護研究者				
実務経験を生かした授業内容	医療機関・行政における看護師・保健師および看護研究者の実践経験を踏まえて授業展開する。				
到達目標及びテーマ	医療現場や看護分野で実在するデータ（模擬データを含む）を分析・利用するための思考力、判断力を修得し、そのデータの活用方法を説明できる。				
授業の概要	医療や看護に関するデータを自分で活用できるための演習を行う。看護分野で活用されているデータを利用したデータサイエンスの実際を理解する。原則として個人で所有するPCを持参すること。なお、本授業は「ICT基礎」「データサイエンス入門」「データサイエンス基礎」の履修を前提として進める。				

授業計画	
第1回	『白衣の天使』ナイチンゲールと統計（古澤）
第2回	社会及び保健医療と情報、看護DXの必要性 情報の定義と特徴、（伊藤）
第3回	看護と情報システム 情報リテラシーの重要性 医療情報の利用と倫理 （伊藤）
第4回	医療現場のデータ活用の実際：入力されたデータの活用方法（伊藤）
第5回	保健医療デモデータを用いた統計演習（1）（フリー統計ソフトEZRのインストールと使い方）（古澤・小島）
第6回	保健医療デモデータを用いた統計演習（2）（フリー統計ソフトEZRへのデータのインポートと尺度水準）（古澤）
第7回	生体情報を用いた統計演習（1）（学生のバイタルサイン測定を活用したデータ収集の準備）（古澤・小島）
第8回	生体情報を用いた統計演習（2）（学生の運動前と運動後のバイタルサイン測定のデータ収集）（古澤・小島）
第9回	生体情報を用いた統計演習（3）（学生の運動前後、運動種類別のEZRを使用した記述統計と推測統計）（古澤・小島）
第10回	データから今を知ろう（古澤）
第11回	GIS(地図で見える化)（小島）
第12回	生活習慣と健康診断のデータ（模擬データ）の関連（1）データ分析（計画立案・統計・検定など）（古澤・小島）
第13回	生活習慣と健康診断のデータ（模擬データ）の関連（2）データ分析（古澤・小島）
第14回	生活習慣と健康診断のデータ（模擬データ）の関連（3）データ分析・結果の見える化（古澤・小島）
第15回	生活習慣と健康診断のデータ（模擬データ）の関連（4）まとめ・発表（古澤・小島）

事前学修		授業計画に該当する部分の内容を事前に調べて、授業に臨むこと。
事後学修		演習で配布されたプリント等を見直し、復習を行うこと。授業中に出された課題は学修しておくこと
フィードバックの方法		毎回出席カードを提出し、質問や感想等についてフィードバックを行う

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	20%	到達目標の達成度
上記以外の試験・平常点評価	80%	演習や課題への参加状況・取り組み態度
定期試験	0%	定期試験は実施しない
補足事項	データサイエンスはカリキュラム上「データサイエンス入門→基礎→DX看護」という積み上げですが、履修要件はありません。自分用のノートパソコンがない場合でも履修はできますので、担当教員までご相談下さい。	

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
指定なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	数式不要! はめ込み統計学 EZRでできる保健医療統計これだけ、医学書院、ISBN978-4-260-04582-7 EZRでやさしく学ぶ統計学 改訂3版～EBMの実践から臨床研究まで～、中外医学者、ISBN978-4-498-10918-6 看護情報学 第3版、医学書院、ISBN978-4-260-04205-5			